

6月1日、ウィーン/パリ

中東欧コファス企業の倒産状況： 経済見通しは好転も企業にとっての試練は続く

- 中東欧では 2014 年に経済活動の改善が見られ、企業倒産状況は落ち着きを示した。地域平均ではマイナス 0.5%と小幅の減少となった。
- 中東欧地域のなかでも状況にはムラがある：スロヴェニア、ハンガリーでは企業倒産が増加、セルビア、ルーマニアでは顕著に減少。
- 見通しは明るい：コファスでは、2015 年の企業倒産件数はマイナス 6%の減少になると予測している。

ここ数年、中東欧諸国は激動の時期を経てきた。各国経済は、失業率の上昇とレバレッジ解消プロセスの進行に由来する民間消費の縮小という試練を受けた。また、主要な貿易相手であるユーロ圏における二段底のリセッションにも影響を受けた。中東欧諸国の大半にとって、2014 年は改善の年となった。GDP 成長率の平均は 2013 年の 1.3%から 2014 年には 2.5%に上昇した。経済成長の原動力となったのは内需の成長である。特に顕著なのは家計消費であり、失業率の低下、賃金の上昇、消費者信頼感の改善が追い風となった。域内の多くの経済では、インフレ率の抑制、場合によってはデフレが実現した。これは主として、コモディティ価格の低下など外的な要因によるものである。経済見通しの改善は企業倒産件数の安定につながり、2014 年にはマイナス 0.5%と小幅の減少となった(2013 年は 7%の増加)。

コファスの中欧担当エコノミスト Grzegorz Sielewicz は次のように説明している。「やや改善が見られたとはいえ、それでも昨年破産宣告をした企業が 6 万 5000 社と、まだかなり多くの企業倒産が見られます。企業倒産を危機以前の水準に戻すには、国内消費の改善だけでは十分な材料ではありません。GDP 成長率は 2.7%と予想されており、企業倒産減少のトレンドは 2015 年中も続くものと前向きに考えています。とはいえ、企業が景気回復の恩恵を十分に受けられるようになるには時間がかかるでしょう」

状況にムラのある中東欧地域：域内で明暗分かれる

中東欧諸国のなかでも、企業倒産の傾向は経済状況に応じてさまざまである。企業倒産の大幅な増加が見られたのはスロヴェニアとハンガリーである。スロヴェニアは 2014 年に 2.5%という堅実な GDP 成長を見せたにもかかわらず、同国の企業には目に見える改善が現われなかった。企業倒産件数は 44.7%増加し、これは中東欧地域全体で最も高い水準である。企業が倒産に至る原因として最も頻繁に指摘されるのが、不適切な投資判断、今日の経済条件に対する調整の不足、企業債務水準の高さである。ハンガリーでは法制度の変化が企業倒産の大幅増加(2014 年には 29.4%増加)の一因となっている。

企業倒産件数が前年より大幅に減ったのがセルビアとルーマニアである。セルビアでは 2014 年 8 月に破産法が改正されたことにより、昨年は企業倒産がマイナス 43.8%の減少となった。ルーマニアでは、家計消費の伸びと EU 資本の活用拡大に支えられた順調な経済活動が企業サイドにおける改善につながり、企業倒産件数はマイナス 28%の減少となった。

明るい展望：倒産件数は今後も減少

中東欧地域の企業倒産は今後も改善傾向を示し続けるだろう。コファスでは、平均企業倒産件数は年末の時点でマイナス 6%の減少になると予想している。今後も中東欧諸国の大半では家計消費が牽引役となるだろう。結果として、消費需要に依存している部門の方が明るい展望ということになる。



P R E S S R E L E A S E

輸出に関しては、昨年実施された対口禁輸措置が、特に農産食品部門にとって強いマイナス要因となった。だがこれに促されて、中東欧企業は代替的な市場を模索し、また増大する国内需要に対応するようになった。西欧諸国の多くにおいて景気回復の兆候がますます鮮明になるなかで、中東欧諸国の経済はユーロ圏との貿易量の増大による恩恵を被っている。

連絡先:

ジョナタン・ペレス - Tel. 03 5402 6108 - jonathan.perez@coface.com

コファスとは

取引信用保険で世界有数の企業であるコファス・グループは、国内及び輸出取引において、取引先の債務不履行のリスクからお客様を守る為のソリューションを、全世界の企業に提供しています。2014年には、4,406名のスタッフのサポートによって、コファス・グループは14億4100万ユーロの連結売上高を計上しました。98か国における直接的及び間接的なプレゼンスによって、コファスは40,000を超える企業の200か国以上にまたがる取引をカバーしています。コファスでは、企業の決済動向に関する独自の知見と、350名のアンダーライターの専門知識に基づいた、160か国に及ぶカントリー・リスク評価を四半期毎に発表しています。

フランスでは、コファスはフランス政府の輸出保証の管理をしています。

www.coface.jp

コファスSAはユーロネクスト証券市場のA部にて上場しています。
ISINコード: FR0010667147 / ティッカーシンボル: COFA

